

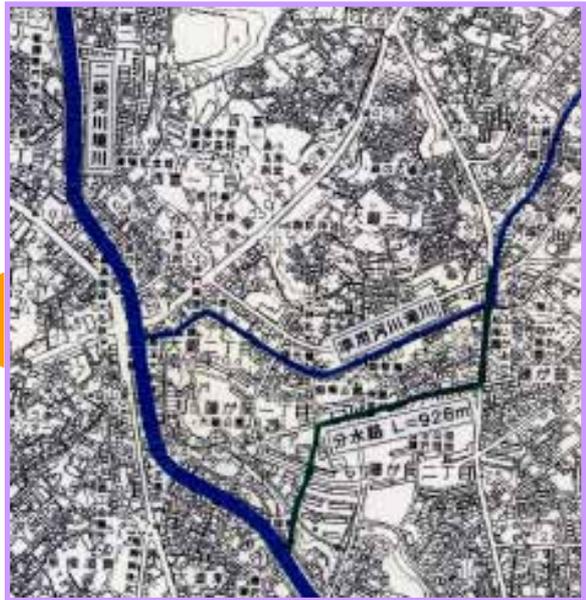
準用河川滝川改修事業の効果について

①準用河川滝川の概要

準用河川滝川は、横浜市戸塚区原宿町に端を発し、一部鎌倉市域を流れ藤沢大鋸^{だいぎり}（藤沢橋下流付近）で二級河川境川に合流しており、流路延長1.92km、流域面積3.95km²の準用河川です。

②分水路改修

滝川流域は、区画整理事業等による急速な都市化に伴い、治水安全度が低下し、地元住民より河川改修に対し強く要望されております。また流域には小規模な戸建て住宅が密集しており河道拡幅が困難であるため、分水路により本川である二級河川境川に放流させ、治水安全度の向上を図るものです。

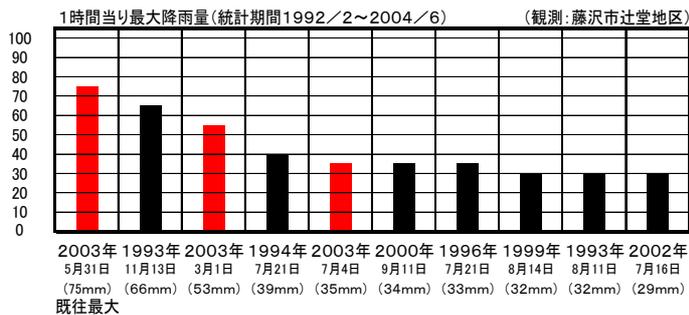


2003年5月31日(既往最大豪雨)

近年、滝川流域では、時間当り降雨量は増大傾向にあり、2003年5月には既往最大である75mm/hの降雨を記録しており、同年3月においても53mm/hの雨量を記録しております。



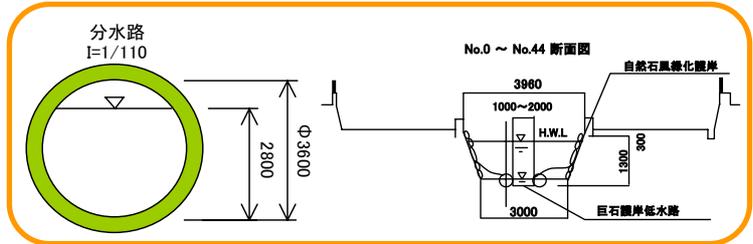
2003年5月31日(既往最大豪雨)



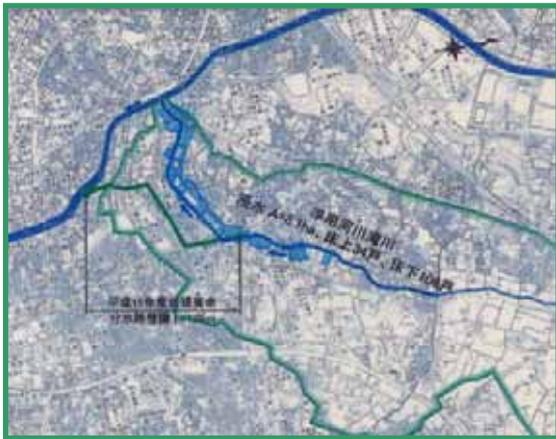
準用河川滝川改修事業の効果について

分水路の築造により浸水被害を阻止

分水路を築造することにより、計画流量の90%である45m³/sを分水し、直接、本川である二級河川境川に放水し、当該河川のネック箇所からの越水を阻止します。また、現況河道については、自然環境豊かな多自然型河川として自然環境の再生を目指します。



【事業効果グラフ】
事業前平面図

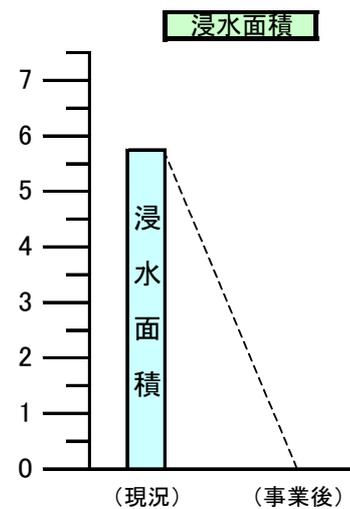
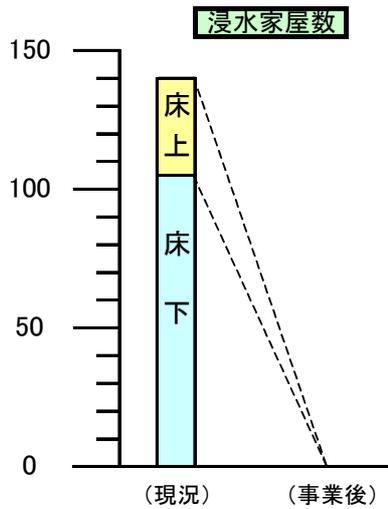


事業後平面図



氾濫想定区域	
現河川流路	
改修計画流路	

事業後の氾濫区域	
----------	--



(想定)		(事業後)	
浸水家屋	床上 106戸	浸水家屋	床上 0戸
	床下 34戸		床下 0戸
	合計 140戸		合計 0戸

(想定)		(事業後)	
浸水面積	5.63ha	浸水面積	0.0ha